

校長室通信

平成24年度 第18号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 11. 15

1 11月（霜月）も半ばとなりました

大きな行事である二中祭が終了しました。秋の日は、つるべ落としと言われますが、気が付くと夕暮れが一段と早くなりました。また、朝夕の冷え込みも増し、学校周辺の家々や街路樹のサクラやケヤキ、ドウダンやカエデなどの木々が色づき里の秋を実感しています。二中の周囲に植えられたカエデは、それぞれの紅葉の見頃を迎えていて気持ちがよいです。

学校では、三者面談、3年生の中間テストが終了しました。3年生は、進路を決定していく大切な時期にさしかかっています。1月に行われる私立高校入試に向かっての11月、12月の学習が、学力を伸ばす最初の大変な1つのピークだと思います。1、2年生は、来週に迫った中間テストに向けて、作成した学習予定表に従い学習を進めています。今回は、3年生に合わせて実施した三者面談の内容を踏まえ、好ましい学習習慣と生活習慣づくりに励んでいきましょう。学校でも支援をしていきますので、ご家庭に置かれましてもお子様しっかりサポートして行ってください。

2 多くの成果を残して二中祭が終了

11月1日に朝会がありました。その際に生徒に話した内容を含めて総括したいと思います。

今回の二中祭スローガン

「本気！🔑 衝撃！🔑 感激！🔑 我らが夢現の二中祭！」は、

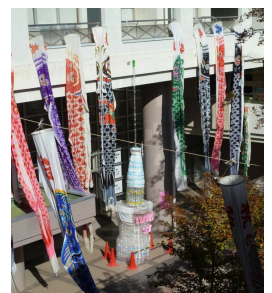
生徒会スローガン「KEY 扉を開けろ」との調和を図った、素晴らしい物です。そして従来の「+1 (one)」から今回は「+ SOME」のコンセプトで展開され、一人一人が「カギ」となれ、の趣旨が存分に発揮されたと感じています。個人として二中祭は楽しかった。という意見が多数です。それは、一人一役以上の係活動をするという体験による多くの学びがあったからだだと思います。一人一人が一生賢明取り組んだからこそ、楽しさを味わえたのではないのでしょうか。

集団としてはどうでしょうか。集団としてみる時には、企画し活動する立場と、見て楽しむ立場になります。いずれの立場であっても、それぞれの企画に於いて楽しめた人が多かったと感じています。それは、生徒の自治的・自主的な活動だったからだだと思います。言い換えれば、生徒による生徒のための手作りの二中祭であったからです。企画部、イベント部、クリエイティ部、装飾・広報部、購買部+合唱コンクールなどの各部門での頑張りは、この下野市を、次代の日本を担う若者の姿です。

人は、いくつかの忙しさの中で成長するようです。一人が何役も持っているため、自分の時間を相当削って大変な思いをした人が多いと思います。また、そのことによりご家庭に多くの迷惑をおかけしたことも事実だと思います。特に3年生は、中心になり非常な努力を強いられたと思います。しかし、生徒達は、その忙しさを楽しみ、結果として大勢の方々に喜んでもらえた。そして、充実感・達成感と自信を手に入れました。この体験は、今後の人生を生き抜く上での支えになると信じています。

保護者の皆様には、PTAの出店を楽しんでいただいたり、ボランティアにご協力いただいたりと大変お世話になりました。また、生徒達の活動を多くの場面で支えて下さり、温かく見守っていただきありがとうございます。きっと、ご家庭の中では物心両面にわたり多大なご支援をいただいたことと思います。この書面をもってでは失礼かと思いますが、感謝申し上げます。

学校では、次年度の実施に向け今年度の反省を各部門で行い集約しているところです。保護者アンケートで寄せられたご意見なども加味し、次年度に活かしていきたいです。また、平成25年度は開校20周年目を迎えます。二中祭だけでなく全ての行事で意識すべきことです。記念となる内容を盛り込んでいきたいです。ご協力を宜しく申し上げます。



各教室の表示が変わりました

クリエイティ部1人1作品



感銘を与えた発表



充実した部活動展示

3 風邪の予防に心掛けよう

今週に入り体調を崩し、欠席する生徒が目立ちます。これから、空気が乾燥する時期に入りカゼを引くことが心配です。カゼはウイルスによる感染です。したがって、予防としては、そのウイルスの侵入を防ぐことです。二中祭前後からマスクをしている生徒を見かけるようになりました。理由を聞くとほとんどの生徒が「予防です」と答えます。カゼの予防として、マスクの着用、うがい・手洗いの励行は最も基本的で効果のある方法とされています。しっかり実践するようにしましょう。

本校では、カゼの予防として11月9日より温かいお茶の持参を推奨しています。お茶うがいや水分補給に役立つと思います。また、13日の保健委員会で15日より加湿器の使用をすることになり職員に周知しました。なお、ストーブの使用は例年通り12月からとなります。各自でカゼ・インフルエンザ予防をしっかりすると共に、冬を乗り切る健康な体作りにも励んで下さい。そして、なにより早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣をしっかりつけることが大切で、食事の栄養バランスにも気をつけていきましょう。



4 週案より

<p>道徳でイチローを利用して夢を持つ大切さ、そして、自信を持つために何をすすべきかを考えた。次の日の生活ノートに反応がけっこうあった。大きな行事が終わった今、しっかりと目標、目的を持たせて生活させていきたい。</p>	<p>三者面談が実施され、私立高校の受験高が決定してきました。願書や調査書の作成で忙しい時期になってきました。抜けのないようにスタッフで確認しながら進めていきたいと思ひます。</p>
<p>3年生の創作ダンスでは、やはり女子の取り組みがとてもよく、思っていた以上の取り組みを見せてくれます。男子も照れくさそうではありますが、楽しそうに体を動かしています。その調子を見ると、ここの生徒は素直でよくやる生徒だと改めて感じました。いい作品ができあがりそうです。</p>	<p>先週に引き続き、教育相談・三者面談が行われた。保護者の方と情報交換ができる貴重な場であるため、今回得た情報を今後の指導に役立てていきたい。立志・スキー学習に向けての実行委員会がスタートした。2年生最後にして最大のイベントを通して、1回りも2回りも成長して欲しい。</p>

5 募金ボランティア関係

(1) 赤い羽根募金

赤い羽根募金へのご協力ありがとうございました。募金総額25,901円は、下野市社会福祉協議会へ届けさせていただきました。

(2) ベルマーク集計

11月13日現在、総合計が13,021点となりました。ご協力ありがとうございます。次回の集計日は、12月6日になります。

ちょっと嬉しい話

11月1日より藤森あゆみ先生(内地留学中)の後任として赴任なされた、大塩宗里先生からのあいさつの中で、中学生はあいさつが良くでき気持ちが良いと話されました。また、勤務初日に昇降口で職員室が分からず困っていたところを、親切に案内してくれた生徒がいる。本当に嬉しかった。とも話されました。

あいさつは、人としての礼儀であり、その場の状況で手をさしのべられる温かな気持ちは、集団生活の潤滑油です。中学生が、初対面の人にもきちんと対応できるように育っていることは嬉しいことです。

期待し頑張ること

このように、中学生が、毎日の生活の中で培ってきた心を、色々な場面で発揮できることに楽しみを感じています。成長中の若者であり恒常的とはいきませんが、ちょっとした場面で、自分の良さを発揮できるようになってきているのかなと、今後の成長を楽しみにしています。

一方、朝会等で生徒達に、公共の場の過ごし方について話してきましたが、交通マナーや公園での過ごし方でいくつかのお叱りのお話をいただいているのも事実です。家庭や学校を離れてもいつでもどこでも好ましい行いが実践できるように支援します。